

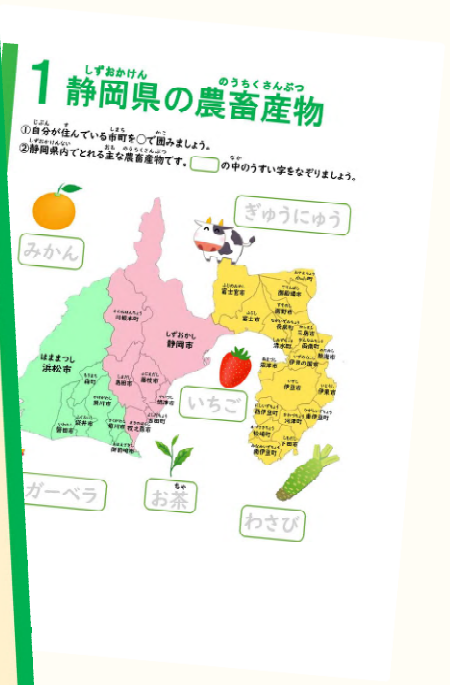
令和8年度版

静岡県農業教育テキスト

しずおかの食と農を学ぶ

ご紹介

令和8年5月 JA静岡中央会



監修：TOSS静岡 / 制作：JA静岡中央会・NPO法人子ども未来

制作の背景



JA静岡中央会

次世代を担う子どもたちに、地域の食と農を伝えるために

静岡県の魅力ある農業と、その大切さ・課題を、わかりやすく次の世代へ。

01 静岡の豊かな農業

温暖な気候、豊富な水源、海・山・平地と変化に富む地形。

その恵みを生かして、**1,000品目以上**の農畜産物が生産される、全国でも有数の農業県です。

02 食と農の課題

農業従事者の減少・高齢化、耕作放棄地の増加。

日本の食料自給率は**38%**にとどまり、私たちの食卓は外国からの輸入に大きく頼っています。

03 テキスト制作の目的

次世代を担う子どもたちに、地域の食と農の大切さを伝えるために、県内の教員で構成する「**TOSS静岡**」とJAグループが共同で本テキストを制作しました。

テキストの概要



JA静岡中央会



TARGET

対象

小学校5年生
(学習指導要領に基づき、農業(食料生産)について学ぶ)

SPEC

規格

A5サイズ (A4二つ折り)
全8ページ/両面カラー印刷

ICT

ICT対応

QRコードから動画・Web情報へ
タブレット端末での学習も可能

CONTENTS

内容

- 1 静岡県の農畜産物 (P2~3)
- 3 国消国産って何? (P6~7)

- 2 農業のいろいろな役割 (P4~5)
- 4 まとめ (P8)

学習① 静岡県の農畜産物



地図を使って、地域の農業を「自分ごと」に。

自分の住む市町を地図でさがし、静岡県でとれる主な農畜産物となぞり書きで覚えます。

1 しずおかけん のうちくさんぶつ 静岡県の農畜産物

①自分が住んでいる市町を○で囲みましょう。
②静岡県内でとれる主な農畜産物です。□の中のうすい字をなぞりましょう。

静岡県ではいろいろな農畜産物を作っています!

静岡県は、温暖な気候、豊富な水源、様々な地形と土壌など、とてもよい自然環境に恵まれ、おいしくて安全な農畜産物が数多く生産されています。その品目数は1,000品以上にのびます。

全国ランキングに入っている静岡県の農畜産物は何かな?

静岡県の産出額が全国第1位から第5位には、何が入っていると思いますか?下の中から、5つ選んで○で囲みましょう。
※産出額は、その県で生産された農畜産物を金額であわしたものです。

茶	いちご	だいこん	なす
みかん	米	わさび	メロン

いくつあっていったかな?

静岡の農業のすごさ

1,000品目以上

温暖な気候・豊富な水源・多様な地形と土壌から、多彩な農畜産物が生まれています。

学習する内容

- 1 静岡県の地図で、自分が住んでいる市町をさがす
- 2 みかん・お茶・いちご・わさび等の主な農畜産物を確認
- 3 産出額ランキング上位をクイズ形式で学ぶ

学習② 農業のいろいろな役割



農業は、食べものをつくるだけではない。

くらしを守る「多面的な役割」を、なぞり書き・線結び・絵さがしを通じて学びます。

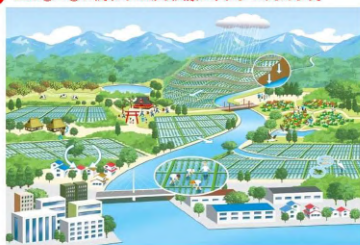
2 農業のいろいろな役割

農業は、私たちが生きていくのに必要なお米や野菜などを作る役割を果たしています。しかし、それだけではありません。私たちの生活にいろいろな『めぐみ』をもたらしています。

問題 1 農業には、どんな役割がありますか。キーワードをなぞりましょう。

- ① 洪水を防ぐ。
- ② 土砂くずれを防ぐ。
- ③ 川の流れを安定させ、きれいな地下水をつくる。
- ④ 多様で豊かな生き物のすみかになる。

問題 2 上の①～④に関わりのある風景に、○をつけましょう。



どないいことがあるのかな？

問題 3 身近に農業があると、どないいことがあるだろう。イラストと文章を線でつなげてみましょう。

<p>① 洪水を防ぐ</p>	<p>A 田んぼや畑が、まわりの川や水路とつながることで、いろいろな生き物が住めます。</p>
<p>② きれいな地下水をつくる</p>	<p>B 田んぼはまわりを「あぜ」で囲まれ、畑は土のすきまが多いです。そこに、水をためます。</p>
<p>③ 土砂くずれや土の流出を防ぐ</p>	<p>C 水が地下にしみこみ、土の中の微生物によってきれいになります。その水は、川にもどります。</p>
<p>④ 生き物のすみかになっている</p>	<p>D 田んぼや畑を耕すと、地下にゆとり水がしみこみおようになり、土砂くずれなどを防ぐことにつながります。</p>



1 洪水を防ぐ

田んぼは「あぜ」で雨水をため、天然のダムになります。



2 土砂くずれを防ぐ

畑や茶畑が斜面を支え、土を流さずに保ちます。



3 きれいな地下水をつくる

土の微生物が水をきれいにし、地下水となって川にもどります。



4 生き物のすみかになる

田んぼや畑が川や水路とつながり、多様な生き物を育みます。

なぞり書き / 線結び / 絵さがしクイズ で「自分のことば」に

学習③ 国消国産って何？



私たちの国で消費する食べものは、できるだけこの国で生産する

食料自給率の現状を知り、地域の食を選ぶ意義を学びます。

3 国消国産って何？

国内で食べられる食べ物のうち、国内で作られているものがどれくらいあるかを百分率で表したものを、**食料自給率**といいます。
2024年現在、日本の食料自給率は38%です。
残りの62%の食べ物は、外国からの輸入にたよっています。

問題1 つぎの食べ物は、何%くらい国内で作っているでしょう。□に書きましょう。

①お米 ②牛肉 ③大豆

□% □% □%

世界では今、人口がとでも増えて食べ物足りなくなっているようだ。戦争や災害が起きて、外国からの食べ物が日本に来なくなったら困るね。

私たちの国で消費する食べものは、できるだけこの国で生産するという考え方を**国消国産**といいます。国消国産の取り組みが広まると、食料自給率の問題だけでなく、未来の日本でも安心して食事ができることにつながります。

美味 × HELLO KITTY 国消国産

【出典】農林水産省（国産）食料自給率についてならび？
https://www.affrc.go.jp/press/2024/04/04_01.html

国消国産って、どんなことをすればいいのかな？

問題2 国消国産を進めるために、どのような取り組みがあるでしょうか？線で結びましょう。

A 消費者の取り組み B 生産者やJA等の取り組み

①安全・安心な農畜産物を作る ②国産の食材を買う ③消費者のところに届ける ④地元の食材を食べる

静岡県のJAってどんな取り組みをしているのかな？
静岡県の食と農のために様々な取り組みをしています。

地元の農畜産物ってどこで売っているのかな？
地域の農家の人たちが、直接持ちこんだ野菜などを売る店のことを、**ファーマーズマーケット**といいます。

問題3 ファーマーズマーケットのキーワードをなぞりましょう。

- ① 毎朝とれたてを届けるから、**新鮮**なものがそろっている。
- ② 作った人の名前や顔がわかるから、**安全・安心**。
- ③ 珍しい野菜や果物がたくさんあり、**選ぶ楽しさ**がある。
- ④ ジャムやつけ物など、**手作りの加工品**も多い。

近くのファーマーズマーケットをさがしてみよう！

日本の食料自給率（2024年度）

38%

残りの62%は外国からの輸入に頼っています。
※カロリーベース／農林水産省

KOKUSHO-KOKUSAN

国消国産

国産・地元食材を選ぶ。
未来の食卓を支える。

P7では農家の野菜を直接買える「ファーマーズマーケット」も登場。
国消国産を身近な行動として体験的に学べます。

学習④ 学びのまとめ



JA静岡中央会

地域の農業を、地域の食卓へ。学びを自分のことばに

これまでの学習を振り返り、感想をまとめることで食や農業への理解や共感を深めます。

勉強した感想を書きましょう。

QRコードからも感想を返れます。

産出額が全国ランキング上位の農産物 (令和6年)

順位	品目
全国第1位	わさび、ガーベラ
全国第2位	みかん、茶、観葉植物、チンゲンサイ、セルリー、ばら
全国第3位	レタス
全国第4位	いちご、メロン、切り枝
全国第5位	たまねぎ

静岡県のJA「公式情報」

静岡県のJAでは、静岡県の農畜産物の情報のほか、農業の魅力やイベント情報等を発信しています!

ホームページ Instagram

8 静岡県のJA 監修：TOSS静岡 作成：JA静岡中央会 NPO法人子ども未来

産出額 全国ランキング

静岡県の主な農畜産物（令和6年）

- 全国 1位 わさび、ガーベラ
- 全国 2位 みかん、茶、観葉植物、チンゲンサイ、セルリー、ばら
- 全国 3位 レタス
- 全国 4位 いちご、メロン、切り枝
- 全国 5位 たまねぎ

学習のしめくくり

- 学習した感想を自由記入によりまとめます。
- 「静岡県のJA」ホームページにも学習した感想をお寄せください!

美味ちゃん



みんなのよい食プロジェクト

教材の特徴・おすすめポイント



JA静岡中央会

なぜ、いま、この教材を活用していただきたいのか

児童の主体的な学びを引き出す、5つの工夫があります。

POINT

1

書きながら学べる

なぞり書き・線結び・○付け・自由記入欄など、児童が直接書き込みながら理解を深められる紙面構成。

POINT

2

楽しく続く工夫

地図・イラスト・クイズ・キャラクターを多用。視覚的に親しみやすく、児童が自ら学びを進められます。

POINT

3

地域学習に直結

自分の住む市町を起点に学ぶ構成で、地域の農業を「自分ごと」として考えるきっかけになります。

POINT

4

学習指導要領にしっかり対応

小学5年生 社会科「食料生産」の学習に最適。総合学習の副教材としても活用できます。

POINT

5

紙+ICTのハイブリッド

紙面のQRコードから動画やWeb情報へ。PDFはホームページから取得でき、タブレットでも学習できます。

授業・学習での活用イメージ



JA静岡中央会

社会科・総合の授業で学習。学校生活のさまざまな場面で

本テキストは、社会科や総合的な学習の時間、探究的な学習の資料として活用できます。

SCENE 01

「社会」の授業で

社

地域の農業や食料生産の学習に。

3～5年生の社会科に取り入れやすい構成。
JA職員や農家の方をゲスト講師として招く活用も考えられます。

SCENE 02

「総合」の授業で

総

学ぶ・体験する・発信する。

学ぶ → 体験する → 発信する

テキストで基礎を学び、地元のJAや農家で体験し、調べたことを発表する——探究的な学びのきっかけに。

SCENE 03

資料として

資

読みもの・参考資料として。

教師の解説がなくても読める作り。
教室への設置や、探究学習の参考資料としても活用できます。



詳しい活用例は、同封の「静岡県農業教育テキスト活用例」をご覧ください。
具体的な授業の流れ・体験学習の進め方・教室での活用シーンなどを掲載しています。

CLOSING / 活用をお願い

地域の食と農を、 子どもたちの未来へ。

令和8年度版「しずおかの食と農を学ぶ」を、
社会科や総合の授業、食農教育活動の資料としてぜひご活用ください。
子どもたちが、静岡県の食と農に関心を持つきっかけになれば幸いです。

監修：TOSS静岡 / 制作：JA静岡中央会・NPO法人子ども未来

JA静岡中央会